

# 北海道における国際会議等 誘致の取組と現況について

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

2020年11月9日

北海道

**HOKKAIDO LOVE!**

# ◆国際会議等の北海道開催推進に係る基本方針



北海道では、2008年に開催された北海道洞爺湖サミットを契機に、従来から進めてきた国際会議等誘致の取組を強化。同サミットをはじめ、これまでの国際会議開催によって高まった北海道の知名度や官民協働の機運を活かし、積極的に国際会議の誘致に取り組む。

世界が注目する大規模国際会議はもとより、本道の個性を活かした様々な国際会議等を開催することにより、**北海道ブランドをより戦略的かつ効果的に発信**

『多彩な地域資源を活かした  
世界が憧れる観光立国  
北海道の更なる推進』  
(北海道総合計画 H28.3策定)

アジアNo.1の国際会議  
開催国として不動の地位を築く等、  
**政府全体の目標達成と**  
**「観光立国」の実現に貢献※**

※「令和元年度革新的事業活動に関する実行計画」  
及び「明日の日本を支える観光ビジョン」

世界に目を向けた産業  
～世界水準の観光地の形成～  
(第8期北海道総合開発計画H28.3策定)

北海道における国際会議  
開催件数の推移と全国順位

年度	件数	順位
2014	107	7
2015	114	9
2016	125	8
2017	119	9
2018	116	10

北海道洞爺湖サミット以降における主な政府系会議

2009年 5月	第5回	日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議(太平洋・島サミット)(外務省)	【占冠村】
2010年 5月	第12回	日中韓三カ国環境大臣会合(環境省)	【千歳市・苫小牧市】
2010年 6月		日本APEC貿易担当大臣会合(外務省、経済産業省)	【札幌市】
2012年10月	第13回	北東アジア港湾局長会議・シンポジウム(国土交通省)	【小樽市・札幌市】
2013年11月	第13回	日中韓特許庁長官会合(特許庁)	【札幌市】
2015年 9月	第7回	日ASEAN防衛当局次官級会合(防衛省)	【札幌市】
2017年12月		ASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁代理会議(財務省)	【旭川市】
2019年 5月		米国電気電子学会回路とシステム国際シンポジウム2019(内閣府)	【札幌市】
2019年10月		G20観光大臣会合(観光庁)	【倶知安町】

(日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」)

# ◆北海道のもつ独自性・優位性



優れた自然環境、安全・安心な食、人々を魅了する観光資源や多様なエネルギー資源、自然と共生するアイヌの人々の歴史・文化等は、**世界に誇る北海道の財産**

## ○ 優れた自然環境



湖沼、河川、火山、温泉、湿原など全国でも類い希な変化に富む自然と数多くの動植物に恵まれています。世界自然遺産・知床などに代表される本道の美しく豊かな自然環境は、世界に誇れる財産です。6つの国立公園、5つの国定公園、12の道立自然公園は、優れた観光資源として、国内外の多くの来訪者をひきつけています。

## ○ 独自の歴史・文化



本州と比べ歴史が浅いと思われがちな本道ですが、道内には自然とともに生きるアイヌの人々の歴史・文化があります。また、急速に近代化を成し遂げた歴史は、開発途上国のモデルともなっています。本道の歴史や北方の風土、開放的な土地柄は、進取の気質に富む個性ある文化を育てています。

## ○ 多様なエネルギー資源

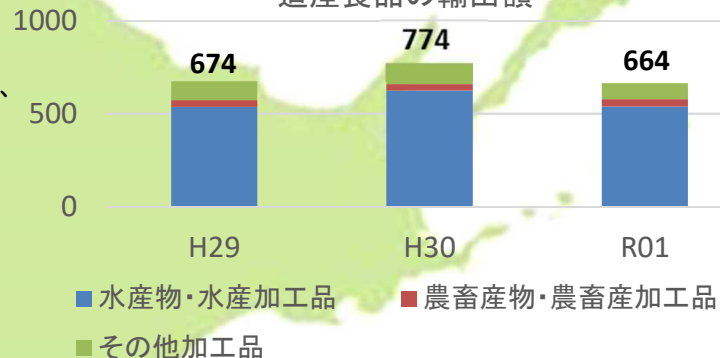


風力、太陽光、農畜産廃棄物など、多様なエネルギー資源があり、風力発電の賦存量は全国1位。また、雪水冷熱に適した積雪寒冷な気候、森林・農産物などの多様なバイオマスなどもあるほか、水素エネルギーを活用した燃料電池の研究も進められており、新エネルギーの宝庫といえます。

## ○ 安全・安心で美味しい食

農業の産出額、水産業の漁獲量・漁獲高が全国1位。食料自給率は約200%です。道では、化学肥料等の使用をできるだけ減らした「クリーン農業」の取組や鮮度保持技術の利用、水産資源の維持増大など、漁業の振興に取り組んでいます。

道産食品の輸出額



## ○ 冬・雪・冷涼

本道は、他の北方圏諸国と比較して低緯度にありながら降雪量が多く冬が長いこと、流水が到来する最南端の地であること、四季の変化が明瞭であるといった特性を有しています。

冬の寒さ、積雪と融雪、夏の冷涼さなどは、冬や雪のハンディを克服する工夫や仕組みを促してきたばかりでなく、本道の暮らしや産業、文化、技術などに豊かな恵みをもたらしています。



# ◆北海道のポテンシャル①: 民族共生象徴空間・ウポポイのオープン



## アイヌが歩む。アイヌと歩む。ウポポイ(民族共生象徴空間)

### ウポポイ(民族共生象徴空間)とは



私たちの国の貴重な文化でありながら  
存続の危機にあるアイヌ文化の復興・発展のための拠点となる  
ナショナルセンターです。

※名称「ウポポイ」について:「ウポポイ」はアイヌ語で「(お台でい) 歌うこと」を意味します。

■ウポポイの主な施設

#### 国立アイヌ民族博物館

先住民族アイヌを主軸とした  
日本初の国立博物館。



#### 国立民族共生公園

体験交流ホール、体験学習館、  
伝統的コタン(集落)、工房等からなる  
体験型フィールドミュージアム。



ウポポイPRキャラクター  
トウレツポン



2020年7月12日  
ウポポイ・民族共生象徴空間  
がオープン

アイヌの歴史・文化を学び伝えるためのナショナルセンターとして、北海道白老町にオープン。開業から3ヶ月で約12万人が訪れ、このうちの約2万人が道内を中心とした小中学校と高校からの修学旅行生となっており、今後も多くの来場者が期待される。



# ◆北海道のポテンシャル②:「ATWS 2021 北海道」の開催内定について



## ATWS (Adventure Travel World Summit) 2021北海道について

【日程】 令和3年(2021年)9月20日(月)~23日(木)  
 【主会場】 札幌市内  
 【参加者】 旅行会社、メディア、政府観光局等

	内容
大会前	Pre Summit Adventure (道内・道外) (4泊程度の体験ツアー (任意))
1日目	Day of Adventure (日帰りのAT体験ツアー)
2日目	オープニングセレモニー、各種講演、ワークショップ、 市内見学・体験ツアー
3日目	マーケットプレイス (商談会)、各種講演、市内見学等
4日目	メディアコネクト (商談)、クロージングセレモニー 等

### 【過去の開催実績】

2016	アンカレッジ (米)
2017	サルタ (アルゼンチン)
2018	トスカーナ (伊)
2019	ヨーテボリ (スウェーデン)
2020	アデレード (豪) ※中止
2021	<b>北海道 ※予定</b>

### 【主催団体】

ATTA(Adventure Travel Trade Association)

世界最大のアドベンチャーツーリズム団体(本部・米国)。メディア、政府観光局、観光協会、DMO、ツアーオペレーター、アウトドアメーカーなどで構成され、約100カ国、1,300会員を擁する。

○ATWSとは、ATTAが主催し世界中のアドベンチャーラベル(AT)関係者が一同に会する国際会議。旅行会社、メディア、アウトドアメーカー、観光局・観光協会、ガイドなど、約60カ国から約800名の関係者が参加し、4日間にわたり、AT体験、商談会、セミナー等が実施されている。

○2005年に第1回大会が開催されてから、アジアでは未開催。世界中のAT旅行者の旅行目的地として、北海道の認知度が飛躍的に向上することが期待される。





【世界遺産登録をめざす北海道の縄文遺跡群】



北海道では、青森県、岩手県、秋田県及び関係市町とともに、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組を推進。

登録を目指す17遺跡のうち、道内には構成資産6遺跡(ほか、関連資産1遺跡)が所在し、約一万年間にわたり自然と共生しながら継続した縄文文化の優れた価値を現代に伝承。



【これまでの経過と今後の予定】

- ・R02.01月: ユネスコへ推薦書提出
- ・R02.09月: イコモス\*による現地調査
- ・R03.05月: 評価結果の勧告
- ・R03.夏頃: 世界遺産委員会で審議

※イコモス…世界遺産委員会の諮問機関



# ◆北海道のポテンシャル④：北海道新幹線の札幌延伸



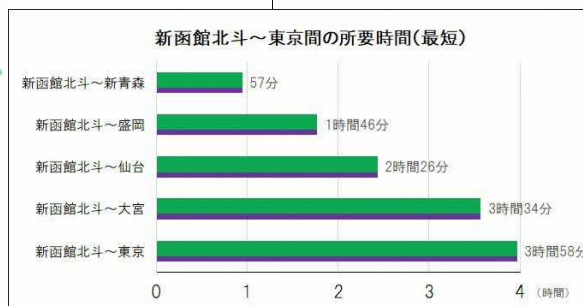
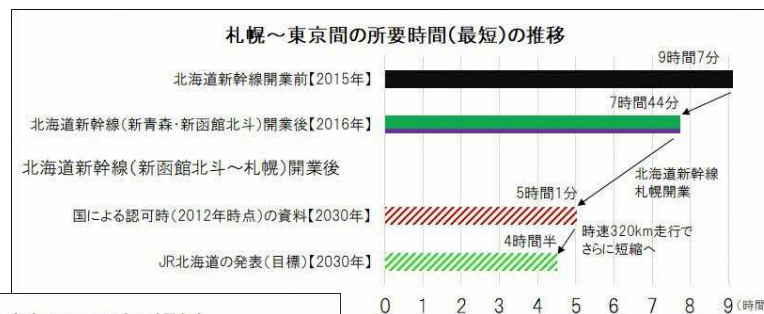
## ～北海道新幹線の札幌延伸～



北海道新幹線は、新青森から札幌まで約360kmに及ぶ路線で、「新青森・新函館北斗」間の約149kmは、平成17年(2005年)に工事实施計画が認可され、平成28年(2016年)3月26日に開業。現在、東京—新函館北斗間を10往復、仙台、盛岡、新青森と新函館北斗の間でそれぞれ1往復(合計13往復)が運行。

**「新函館北斗～札幌」間の約212kmは、平成24年(2012年)に認可・着工され、新函館北斗開業の概ね20年後(2035年)までの開業が予定されていたが、5年間前倒しをして、令和12年度末(2030年度末)の開業を目指すことが決定。**(※平成27年1月14日開催政府・与党整備新幹線検討委員会より)

新幹線開業をきっかけに、東北地方をはじめ、首都圏・北関東など各地域との交流が活発になることが期待されている。



# ◆国際会議の開催環境 ～ 道内の主なコンベンション施設



札幌

## ◆札幌コンベンションセンター

- 主要施設
  - ・大ホール：スクール1,200人、シアター2,500人
  - ・中ホール：スクール238人、シアター600人
  - ・特別会議場：スクール252人、シアター590人
- 主な開催実績
  - ・APEC貿易担当大臣会合(2010年)
  - ・国際野生動物管理学会議(2015年)



札幌 計画中

## ◆市営地下鉄中島公園駅周辺地区

札幌市中心部  
ホテルとの一体整備による  
新施設計画



旭川

## ◆旭川市大雪クリスタルホール

- 主要施設
  - ・大会議室：スクール180人、シアター300人
  - ・レセプション室：スクール90人、シアター150人、立食100人



北見

## ◆北見芸術文化ホール (きた・アート21)

- 主要施設
  - ・中ホール：シアター420人



函館

## ◆函館アリーナ

- 主要施設
  - ・メインアリーナ：スクール2,120人、シアター5,000人
  - ・サブアリーナ：スクール208人、シアター1,044人
  - ・武道館、多目的会議室



帯広

## ◆とちぎプラザ

- 主要施設
  - ・大集会室：スクール192人
- 主な開催実績
  - ・第1回G8水と衛生に関する専門家会合(2008年)



釧路

## ◆釧路市観光国際交流センター

- 主要施設
  - ・大ホール：スクール1,200人、シアター1,500人
  - ・視聴覚室：スクール63人、シアター100人
- 主な開催実績
  - ・ラムサール条約締結国会議(2013年)
  - ・東アジア・オーストラリア地域  
フライウェイパートナーシップ(2015年)

## ◆その他地域の施設・開催実績

- ◆ザ・ウインザーホテル洞爺(洞爺湖町)
  - ・北海道洞爺湖サミット(2008年)
  - ・第8回日中韓賢人会議(2013年)
- ◆星野リゾートトマム(占冠村)
  - ・第5回太平洋・島サミット(2009年)
- ◆ニセコHANAZONOリゾート(倶知安町)
  - ・G20観光大臣会合(2019年)



# ◆ 新型コロナウイルス感染症に対する北海道の対応



## 「新北海道スタイル」安心宣言

### ◆ 「新北海道スタイル」道民運動の展開

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、道民と事業者双方が、感染リスクを低減させる「新しい生活様式」を実践、可視化。
- ・北海道らしいライフスタイル、ビジネススタイルとして日常に浸透・定着。



**道民の皆さまへ**

コロナに強い社会へ：「新北海道スタイル」を創る

**事業者の皆さまへ**

はじめよう、つづけよう。「新北海道スタイル」

**目指す姿**  
 道民と事業者の連携モデル  

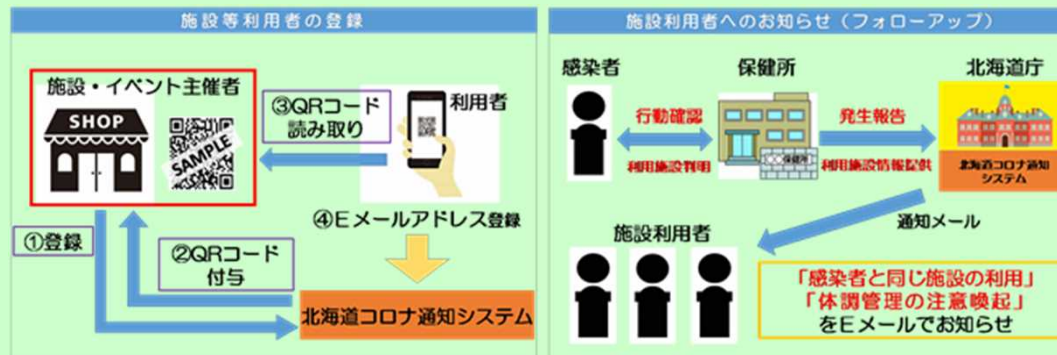
道民、道内の事業者が連携し「新北海道スタイル」を構築

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします

はじめよう、続けよう。「新北海道スタイル」

### ◆ 北海道コロナ通知システムの導入

- ・不特定多数の方が利用する施設やイベント等において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止することを目的とした取組を実施。



# ◆新型コロナウイルス感染症終息後における訪日外国人旅行者の意向



## 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」

### 実施結果

令和2年8月 (株)日本政策投資銀行  
(公財)日本交通公社

○新型コロナウイルス感染症終息後に観光旅行したい国・地域として日本の人気は高く、**北海道は東京に次ぐ第2位の人気である。**

コロナ禍の状況ではあるものの…

### 新型コロナ終息後に訪問したい地域

順位	都市・地域名
1	東京
<b>2</b>	<b>北海道</b>
3	関西
4	東京近郊
5	九州
6	沖縄

### ◆北海道の観光施策の推進◆

海外からの誘客を促進するため、相手国・地域と連携した相互送客の取組や、北海道観光のファンを増加させることによる来道時期の平準化や広域拡散化、市場別の戦略的なプロモーションの展開などに取り組む。

コロナの影響あり

### ～ 北海道の対応 ～

### HOKKAIDO LOVE プロジェクトを展開中

▼新型コロナの終息後を見据え、食や自然といった本道の魅力を発信し、国内外の「北海道ファン」の来訪意向を高めるSNS施策等を展開中。

## HOKKAIDO LOVE!

▼キャッチフレーズを幅広く活用し、オール北海道で観光関連産業等の前向きな取組を応援。

▼SNSへの写真投稿を通じ、道民の皆様に、普段意識しない北海道の良さを再認識いただき、誇りを感じていただく「シビックプライド」の醸成。

▼投稿を通じ、本道の魅力を再認識していただくとともに、道外・海外の方々のコロナ終息後の訪問意向を喚起。

# ◆国際会議等の道内開催に向けた体制

## 北海道国際会議等誘致推進会議

知事を会長に、市長会、町村会、経済団体等で構成されており誘致に向けた情報の発信、開催情報の共有、誘致に向けた要請活動を統括する。

## 北海道MICE誘致推進協議会

北海道洞爺湖サミットで培われたノウハウと各構成都市のネットワークを最大限に活用して「北のおもてなし」で、魅力あふれる印象深いMICEの開催をサポート。

◇URL

<https://hokkaidomice.com/>



- ・(公財) 札幌国際プラザ
- ・(一社) 旭川観光コンベンション協会
- ・函館市/  
(一社) 函館国際観光コンベンション協会
- ・北見市観光協会連絡協議会
- ・釧路市/  
(一社) 釧路観光コンベンション協会
- ・北海道/(公社) 北海道観光振興機構

## 民間や各種学会等への支援

### 『北海道コンベンション誘致促進助成金』

#### 1. 助成の対象となるコンベンション

2日間以上にわたって開催される学会、会議等のうち「北海道外（外国を含む。）からの参加者が全体の2分の1以上」かつ「開催される市町村またはコンベンションビューロー等から助成金が交付されるもの」であって、次のいずれかに該当するもの。

ア 参加者が300人以上であり、かつ、そのうち外国からの参加者が50人以上の規模で開催される国際的なコンベンション

イ 参加者が1,000人以上の規模で開催される全国的なコンベンション

#### 2. 助成額 100万円～300万円

(上記1の区分による)

※主催者が国または地方公共団体のもの、営利又は収益を目的としたもの等は助成の対象となりませんのでご注意ください。

▼詳しくは北海道のHPをご確認ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/370-convention/convention.htm>

はじめよう、つづけよう。

「**北海道スタイル**」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

**国際会議等の北海道開催の推進について  
各省庁の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。**

【お問い合わせ先】

北海道総合政策部

国際局国際課企画調整係

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL:011-231-4111(内線:21-213)

:011-204-5113(直通)

FAX:011-232-4303

ウポイPRキャラクター  
**トウレツポン**

